



とねしょうかわらばん

がつ にちほん
6月15日版

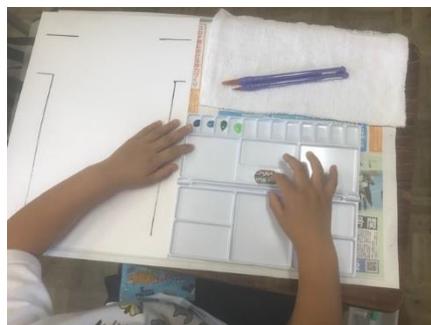


3年生の理科の観察で飼育しているアゲハチョウが、さなぎからふ化して間もない様子の写真です。20分休みに校長が中庭にいるのを見つけて「校長先生！すぐ来て！！」と3年生が呼びに来ました。行ってみるとふ化したばかりのアゲハチョウの成虫が飛び立つ準備に入っていました。子どもたちが「かわらばん載せてくれる？」と喜んでいました。最近プール清掃

の際に職員が捕まえたヤゴがさなぎになって、とんぼ（ギンヤンマ）に成長して飛び立つ様子が見られました。5年生では、メダカの卵の成長を観察しています。生き物の成長を目の当たりにできることは、子どもたちにとってまさに「生きた教材」です。

右の写真は、6年生の体育「マット運動」の一場面です。

側転を学習しています。写真に見えますコーン2つの間隔は、側転を行った際に足を着地させる目標を示しています。側転を始めた時期は、2つのコーンの間隔を長くしておき、腰が高く上がるようになるにつれて間隔を狭めていきます。マット運動の上達にはスモールステップが求められますので、段階に応じた学習の場の設定が必要となってきます。



どのような学習でも、初めて経験するものは教師も子どもたちも、ワクワクとドキドキするものです。左の写真は、3年生書写で毛筆を学習しています。

新しい硯に水を入れ、一生懸命墨を磨っています。昔とはちがって硯はとても軽い素材できており、しかも墨を磨りやすい表面になっています。右の写真は、1年生の初めて絵の具を使う授業です。パレットや筆、雑巾の置き場所、水入れの置き場所など、覚えることがたくさんです。この日は、きれいな好きな色をまっすぐな線で引く学習でした。